

銀漢亭日録



伊藤伊那男

6月1日(水)▼「きさらぎ句会」あと十人。「宙句会」あと八人。その他。一般のお客さんもそこそこ。現俳協の今野さん、俳句雑誌のグラビアで見たとて訪ねて下さる。

2日(木)▼宮澤、出雲へ。田辺家訪問と。「雲の峰」六月号到着。私の連載「そして京都」が六十四回をもって終了。五年以上にわたり、勝手な文章を掲載してくださった朝妻力主宰に感謝！店「十六夜句会」あと十二人。今泉礼奈さん、研修終えて東京勤務に。賑わう。

3日(金)▼十六時半、毎日新聞の取材と撮影。今週が椎名誠で来週十日(金)が私と。「大倉句会」あと十四人。

4日(土)▼浅草寺に参拝して十七時、駒形どぜう。三笠書房の押鐘会長、森崎森平、小野寺清人さん。二月に流れた「河豚鍋の会」のやり直し。鍋。ここどぜう汁が好きでお替わりする。あと国際通りのホテル裏のウイスキーバー。あと寿司屋横町の「あずま」の餃子とラーメン。帰宅して家族でまた少し……。

5日(日)▼今日からピロリ菌退治のため一週間禁酒！大きな事件である。十三時、「中野サンプラザ」にて「春耕同人句会」。帰宅して家族で夕食。山椒の実が沢山届いたので鯖の山椒煮など。ノンアルコールビールを初めて飲む。二十二時には寝てしまう。

6日(月)▼昨日、東京梅雨入りと。店、郷里の友人田中昇さん寄ってくる。京都独身寮隣室の先輩吉田さん久々。「かさ、ぎ俳句勉強会」あと九人。閑散。

7日(火)▼午前中、「あんどウクリニック」。「トヨシマクリニック」の紹介で循環器系の検査をしようということに。店、正木ゆう子さん近くに來たとて挨拶に寄ってくる。駒ヶ根市長の杉本幸治君、出張で來たと。村上頼彦君、礼奈さん。

16日(木)▼「あんどウクリニック」。検査結果は血糖値ギリギリ。血圧はアルドステロン型高血圧というタイプ。今日から降圧剤を飲むことに。先生より、「供給と消費のバランスを考えると。酒も飲む、米も食べるは駄目！」と。店、うさぎさん手伝いの日。鈴木琢磨さんと韓国大使館の方。「銀漢句会」あとの十六人など。

17日(金)▼「葛句会」選句。あと六人。法政大学教授で伊那谷の調査をしている高柳先生、飯田出身の弁護士古畑さん、「秋」主宰佐怒賀正美さん。高柳先生が一度、「銀漢亭」に來たいとて企画して下さったもの。共通の友人の話や、郷里の行事のことなど話が盛り上がる。但し閑散。

18日(土)、19日(日)▼終日家。八月号の原稿書き、家族で食事。天気良いのでウッドデッキで焼き肉。鮑の酒蒸し、海鞘など。モエ、富山の酒「勝駒」など。そうそう父の日である。

20日(月)▼『そして京都』のエッセイに井上井月のことを追加することとして三回分書く。店、「演劇人句会」十一人。あと、井蛙さん他、六人で餃子屋。伊藤政三さんの母上で「銀漢」会員の伊藤菅乃さん逝去と。

21日(火)▼店、鳥居真里子さん他「門」の方々。あと、水内慶太さん、水香さん。毎日新聞の森さん他八名ほど。

22日(水)▼ホテルメトロポリタンエドモントにて「蛇笏賞」贈呈式。今年は矢島渚男先生、信州の先輩にて出席。店は展枝さんに任ず。展枝さん料理を数品持参し、二十時過ぎまで店を守ってくれる。戻ると賑わっており、法政大学の高柳先生、南信州泰阜村の辻英之氏と。

23日(木)▼角川「俳句」八月号、推敲のポインント特集の「素材の吟味」の執筆。千七百字ほど。苦戦。店、本日、超閑散。二十二時前に閉める。

24日(金)▼三ヶ月に一度の「白熱句会」。水内慶太、檜山哲彦、佐怒賀正美、藤田直子、井上弘美さんプラス私。「金星句会」あと大和、

8日(水)▼「梶の葉句会」。七月号校正原稿渡す。店、水内慶太氏、句会のこととして三人。大西酔馬さん明日の誕生会の準備に。全体閑散。

9日(木)▼九時半、「あんどウクリニック」。心電図、血管伸展性検査。二十四時間心電図の装置を付ける。血管年齢は七十代前半と。ウム……。店、大西酔馬さんの六十一歳誕生日の会。三十人ほど集まる。店のアルバイト大塚凱君。

10日(金)▼禁酒六日目。酒を飲んでいる時より何やら気怠いのはピロリ菌退治の薬のせいかな？毎日新聞の夕刊、一頁の四分の三くらい私の写真と記事。ちよつと気恥ずかしくもあり、嬉しくもあり……。北辰社とエッセイ集出版につき打ち合わせ。店、閑散にて二十二時半閉める。

11日(土)▼十時、運営委員会。十六時、湯島の「全国家電会展」にて「銀漢本部句会」五十四人。あと「はなの舞」にて親睦会。ノンアルコールビール、ピロリ菌退治の薬、今日まで。

13日(月)▼中川さん來宅。散髪してもらう。店、毎日新聞を見たという方、二人あり。一人は井月の本購入。一人は句会見学することに。山崎祐子さん。奥、羽衣さんの能登の水菜をメインにした「闇鍋会」。九人が、材料持ち寄りの会。「水」「菜」の題で句会も。先週は水内慶太さんから、今週は菅原庄山子さんから、各々、月山筍到來。

14日(火)▼舛添知事問題などおかしくてついワイドショーを見てしまう。店、文化放送で大竹まことさんのナレーション聞いたという方が二名。「火の会」八人。文弘さん……麒麟……、元野村證券社員でかつらぎの本多さん。

15日(水)▼鈴木忍さんお手伝いの日。「三水会」七人。元NHKの水津さん、パーティーあとの歌人佐佐木幸綱さん他を案内して下さる。水内慶太さん。

健康さん。「くだんの会」あとの權未知子さんら四名など。

25日(土)▼母一周忌。十四時、日本橋「鮎の与志喜」にて「纏句会」。月野ばなさんを迎えて十五人。題の鮎の唐揚げ、風干鮎、茄子の田楽、万願寺唐辛子焼、あと握り。終わって京王線唐花公園の黒岩家へ。ORIX時代の常務の七回忌。友人二人で奥様を訪ねる。すっかり御馳走になる。あと駅近くの居酒屋に寄る。

26日(日)▼「銀漢」八月号の原稿書き続ける。杏一家も来て食事会ということに。私は鮎二十本、串に刺して塩焼き。砂肝のニンニク風味炒めなど作る。酔って早々に寝る。

27日(月)▼店、凜子さん友人と。

28日(火)▼「萩句会」選句へ。欠席投句も多く二十五人の出句。店、「闇句会」八人。宮澤と地元のパパ仲間五人。私も時々飲む仲間。角川、白井編集長より連絡あり、八月号の推敲についての私の原稿、やはり趣旨違うと。書き替えることとなる。

29日(水)▼角川「俳句」の原稿、初心者向けに具体的な推敲例を入れて書き直し、四枚送る。ヘトヘト。店、「慶應茶道会」の赤羽先輩、後輩の山添君。「雛句会」十一人。二十一時閉める。新宿でついつい酒場へ。つれづれにエッセイの材料をメモ。小田急の電車の中で書き始め、成城の駅のベンチで一回分書き上げる(判読難しい書きながら)。

30日(木)▼「あんどウクリニック」。アルドステロン型と一般の高血圧の両方あるかもしれぬとて、二種類の薬へ。しばらく様子見。店、忍ママの日。水津さん、慶太さん、今井聖さん……カウンター盛り上がる。

7月1日(金)▼富士山開山に五合目へ行った慶太さんと山口の方。「大倉句会」あと十八人。